

フランス研修プログラム新設

フランスで行う海外研修プログラムが2件新設されました。

●リールでフランス語研修



"Lille catho cour" by Velvet - https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Lille_catho_cour.jpg#/media/File:Lille_catho_cour.jpg

本学はフランス北部リールにあるカソリック大学と提携しています。2016年2月～3月の12日間、同大学でフランス語を集中的に学ぶ「フランス語研修コース」が新設されました。



語学・会話だけでなく、背景となる歴史、文化、文化交流なども現地でするプログラムです。

研修費用の一部は、選考の上、奨学金として支給される予定です。フランス語既修の在学生の皆さん、ふるって応募しましょう。

●ディジョンでフランス観光文化研修

2016年度には、フランス中部の都市ディジョンにあるブルゴーニュ大学での観光文化研修も企画されています。

ディジョンはブルゴーニュ地域圏の首府ですが、中世後期に栄えたブルゴーニュ公国の首都であった歴史を持っています。

2016年秋、ブルゴーニュ大学で本学科新入生対象の観光文化研修(7日間)が企画されています。その後の長期留学を奨励するため、本研修費用は選考の上、奨学金として支給される予定です。2016年春に入学する皆さん、ふるって応募しましょう。



サマーセミナー in チェコ共和国

国際文化学科では、日本語、英語に加えて、1つ以上の外国語修得に力を入れています。選択できる外国語の中でもヨーロッパ系の言語は、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中欧の諸言語を学べます。2015年夏にはブラハ(チェコ)でサマーセミナーが開講され、国際文化学科2年の佐藤さんが参加しました。「最近、チェコ語も聞き取れるようになってきて、地元の人たちとも交流できるようになってきました。帰るのが名残惜しく思えてきます。」(8月19日のブログより)



ニュース

●フランス研修 プログラム新設

●サマーセミナーin チェコ共和国

P1

●秋学期開始、

中国・台湾・韓国・ ノルウェーから 留学生

●ベトナム研修

P2

●国際文化研修

〈中国〉

P3

●日本語教授

インターンシップ

〈台湾〉

●博物館実習・

教育実習

P4

秋学期開始、中国・台湾・韓国・ノルウェーから留学生

9月に後期が開始しました。海外の多くの大学は秋学期始まりなので、後期から大勢の留学生が国際文化学科で学んでいます。

国際文化学科には、中国、台湾、韓国、ノルウェーから40人余りの留学生がやって来ました。1年間の交換留学の学生、3年次に編入して2年間JIUで学び、JIUでの学士号取得をめざす学生などさまざまです。最初の学期は学部の講義より、日本語の授業をたくさんとらなければならない留学生もいます。

文字通り、キャンパスには世界中から留学生が集い、グローバルな学びの場となっています。国際文化学科の日本人学生には、積極的に留学生と交流し、友人を作り、彼らの学習や生活を手助けしてほしいと思います。自分たちが外国に留学するときには、同じように助けてもらうことになるでしょう。



水田美術館で、「浮世絵美人競」展の解説を聞く留学生

ベトナム研修

9月6日から14日まで、ベトナム研修が行われ、国際文化学科生も参加しました。

この研修はJASSO(日本学生支援機構)に採択され、助成金をいただいて行われました。川野先生(国際交流学科)の企画と引率で、ホーチミン市工業大学、ホーチミン市技術師範大学、ゴイサオ高校などで研修を行いました。国際文化学科からは、大平さん(2年)、永田さん(2年)が参加しました。

●学生の報告から



「ホーチミン市工業大学を訪問しました。想像以上にとても温かく歓迎してもらい嬉しかったし、とてもしっかりした建物と設備に驚きました。ベトナムの学

生が、ベトナム文化の紹介のビデオを見せてくれたり歌を披露してくれました。その後、自分達も出身地のプレゼンをしたり、ソーラン節を披露したりしました。

みんなとても日本に興味をもってくれていて、自分達も日本文化を見直すきっかけになりました。」(2年、永田)



「ベトナムのミトーを訪問しました。子供たち、ゴイサオ高校の学生と一緒に村のお宅を訪問し、暮らしの様子を見せていただきました。

子供たちと一緒にマップを作ったり、家を作る作業を観察しました。料理も説明を受けながら見る事ができました。今日の料理はこれまで食べたベトナム料理の中で一番美味しかったです。

ベトナムの小さな子供達は日本人と似ていてとてもシャイな子たちばかりです。話しかけたり近くに寄ったりすると、恥ずかしがりハニカミながら逃げてしまいます。それもまた、かわいかったです。訪問したお宅の人々は、みんな優しく笑顔で接してくれました。

観光やツアーでは見る事の出来ないミトーの状況を肌で感じる事ができました。過疎化する地域、村を、文化や伝統を残しながら次世代がどう守っていくのが問題です。今日の活動から沢山の事を学びました。」(2年、大平)



国際文化研修〈中国〉

9月7日から16日まで、国際文化研修〈中国〉が行われ、国際文化学科生3名が参加しました。

この研修もJASSOの助成を受けて行われた「次世代交流プログラム」で、引率は国際交流学科の李先生。国際文化学科からは2年生の菊池さん、佐藤さん、永井さんが参加しました。

●学生の報告から

東方航空で上海を経由して北京まで行きました。日本文化紹介の準備をしてきたため、翌日の交流会を楽しみにしていました。



2日目、北京外大の中を4年生のはるかさんが案内してくれました。交流会では、みんな興味深そうに聞いてくれたので、準備を頑張った甲斐があったと思います。午後の研修では、国家博物館や頤和園に行って、中国の文化や歴史を楽しく知ることができました。



3日目は、李豊先生の中国語講座でした。中国の歴史を楽しく学ぶことができました。今日の交流会はお菓子を食べながら

だったので、お互いに緊張せず、昨日よりも親しく接することができたと思います。北京外大日本語学部の2年生の孫さんが「幽兰逢春」という曲名を、横笛で演奏してくれました。とても音色が綺麗で、明るく楽しい感じでした。

4日目は、二回目の李先生の授業でした。会話中心の授業で皆楽しそうでした。中国の地下鉄に初めて乗りました。そこで手荷物検査があったことや、セキュリティ面で二重ドアになっていることに驚きました。天安門でも荷物チェックがあり係員の目が少し怖かったです。雨が降っていたのですが、人が多く流石観光地だと思いました。故宮博物院はとにかく広く長かったです。博物館というよりは展示場みたいでした。



5日目は万里の長城に初めて登りました。登るのが大変でしたが、高いところから見た風景は、とてもきれいでした。天壇では多くのことを学びました。床にある石が九の倍数であることや雨水を排水するための龍の口、天と



地があることなど、多く学びました。天壇近くの商店街では、一つ一つの店の雰囲気明るく、入りやすかったです。



7日目は、北京から西安に飛行機で2時間程かけて移動しました。西安は人口が多く高いビルが多く建っていました。ホテルで西安外大の3年生と4年生の三人の生徒と合流し、一緒に西安の繁華街を観光しました。明かりがきれいで、とても賑やかで、やはり観光客が多かったです。夜ご飯には、西安名物といわれる、春雨・パンのようなもの・牛、羊肉が入った麺類を食べました。安かったのですが、意外と量があり、満腹になりました。

8日目は、まず「兵馬俑博物館」に行きました。兵馬俑は、身長が173cmから195cmと高いものが多かったです。また、博物館では兵の階級によって展示を分けており、一号館は鎧を着ている歩兵、二号館は脱いでいる騎馬隊と弓兵が収容されていて、弓を打つために中腰になっている兵は、120cm位だそうです。三号館では、中級指揮官が主に展示されており、背の高いものでは195cmもあり、また、兵士の顔を見比べると、一人一人顔が異なっており、今にも動き出しそうな迫力でした。秦の始皇帝陵は山のようになっていて、発掘しようとしても200年くらいかかるそうです。

「青龍寺」は、真言宗の僧「空海」が修行に来た場所で知られています。日本風の寺があり、日本にいるような錯覚をするほどきれいでした。日本の四国のお寺とも繋がりがあ

るそうです。「大雁塔」は、三蔵法師がインドの仏教の教典を翻訳した場所です。三蔵法師は仏教の弁論大会に参加して優勝しました。インドに留学すると、当時は中国へは帰国できなかったのですが、インドの僧侶の忠告をきかずに帰国しました。このお寺から日本へ、初めて仏教が伝えられたそうです。

最後に「碑林」に行きました。昔、教科書は人の手によってコピーされていたのですが、一文字でも間違いが起きないように、皇帝が大金をかけ正しい情報を石板に掘ったものを碑林と言うそうです。教科書を作る際には、碑林を使って、二万もある文字を版画のように転写して使っていました。また碑林には、日本の平成や昭和の年号の成り立ちも記述されていて、中国と日本のつながりも感じられました。



(2年、菊池、佐藤、永井)

日本語教授インターンシップ〈台湾〉

9月14日から23日、台湾の提携大学で日本語教授インターンシップが行われました。

林先生(国際交流学科)の引率のもと、参加者21名が7つのグループにわかれ3名1組で日本語を教えました。淡江大学、台北城市科技大学、高雄餐旅大学では日本語教授を行い、真理大学では、日本語学習者たちと交流会をしました。国際文化学科からは王さん、阿部倉さん、佐藤さんの3名が参加し、他の学生とも協力しあって事前準備、教案作り、そして実習を行いました。最初は緊張していましたが、徐々に、学習者の反応を見ながら臨機応変に対応できるようになりました。



淡江大学にて、佐藤さん



台北城市科技大学にて、王さん



淡江大学にて、阿部倉さん

城西国際大学
国際人文学部
国際文化学科

〒283-8555
千葉県東金市求名1番地

TEL:
0475-55-8800 (代)

FAX:
0475-55-8811

博物館実習・教育実習

国際文化学科の学芸員養成課程では、博物館や美術館で働く専門職員である学芸員の資格を取得することができます。資格取得のためには、学外の博物館で実習を経験することが必要です。7月から8月にかけて、4年生4名が下記の館で実習をさせていただきました。受け入れ館

の皆様には、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

★千葉県立中央博物館(曾田)／千葉市美術館(有竹)／船橋市郷土資料館(相沢)／松戸市立博物館(高木)



国際文化学科の教員養成課程では、中学・高校の、英語・国語・社会・地理歴史の教員免許を取得することができます。今年度も4年生が出身校を中心に、教育実習をさせていただきました。受け入れ校の皆様には、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

国際文化学科ブログ



国際文化学科ウェブサイト内に、学科ブログを開設しています。学生の海外留学報告をはじめ、アクチュアルな活動を随時紹介しています。ぜひのぞいてみてください。

学科Web サイト

URL:

<http://www.jiu.ac.jp/cultural>

